

史資料ハブ

地域
文化
研究

March 2007

No.9

[企画]

国際シンポジウム

アジア・アフリカ史資料学の現在と地域文化研究 (2006年12月16日、17日)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 学長挨拶 | 池端雪浦 |
| 地域研究と資料保存—保存管理者の視点 | 安江明夫 |
| アチェ文化財復興支援室の活動について | 青山亨 |
| 失われた宝石の回復 | |
| —ミャンマーの貝葉文書、折畳み写本の収集、保存とテキスト研究 | ウー・トーカウン |
| モンゴル国における文書館の組織と発展の問題 | デンベレル・ウルズィーパータル |
| パネルディスカッション | |
| 「デジタル化資料はオリジナル資料をこえられるか」 | 臼井佐知子 |
| トルコの文化と歴史に関する文字資料を図書館の環境で利用すること | イスケンデル・バラ |
| テトワンの私的図書館が持つ文化的財産 | |
| —ダーワード図書館を例として | ハスナー・ダーワード |
| C-DATS・電子図書館プロジェクト | |
| —Dilinsにおける史資料の多言語目録構築とデジタル化を中心に | 加藤さつき |
| バングラデシュ解放戦争の歴史記述における口述証言の意義 | シュクマル・ビツヤス |
| 南スラウェシにおける日本軍政 | |
| —インドネシアにおけるオーラル・ヒストリー初期的研究 | A・ラシド・アスバ |
| 総括討論 | 司会：藤井毅 |

欧米におけるアジア

新聞報道に見る1888年のバルセロナ万国博覧会における日本の存在

マリーナ・ムニョス・トレブランカ

米国における東アジア研究の過去、現在、未来

チャルマーズ・ジョンソン/井尻秀憲

オーラル・アーカイヴズに関する報告

オーラル・アーカイブの構築、応用と難点

沈懐玉

[活動報告]



東京外国語大学大学院
地域文化研究科
21世紀COEプログラム

「史資料ハブ地域文化研究拠点」

